

三重県医療ソーシャルワーカー協会 H29年度 実践報告会のご案内

平成30年1月吉日

寒冷の候、会員の皆様にはますますご活躍のこととお慶び申し上げます。

さてこの度、報告者の応募等を経て実践報告会の内容が概ねまとまりましたので、再度ご案内致します。今回は、まず冒頭に基調講演として、皇學館大学現代日本社会学部教授山路克文先生より下記テーマでお話し頂きます。“地域”という実践の土台や、そこでMSWに求められる姿勢について改めて学んだ上で、幅広く興味深い内容で応募頂いた会員の皆さまからの演題を報告頂く構成と致しました。

この機会を、日々の実践の中で「考えていること」「伝えたいこと」「知りたいこと」などを、皆で共有し深め合う場にできればと思います。また、これからソーシャルワーカー等を志す学生の皆さまにもこの機会を開放し、我々の実践に触れて頂く機会にもしたいと考えています。ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時 : 平成30年2月4日(日) 13時00分～16時30分(12時30分～受付開始)

会場 : 松阪市産業振興センター 2階 人材育成講座室

対象 : 当協会会員、MSWを目指す学生等

内容 : 13:00～ 基調講演 皇學館大学 現代日本社会学部教授 山路克文 先生
「トップダウンの『地域福祉』＝我が事・丸ごと地域共生社会
－MSWに求められる新たな機能と役割－」
14:40 実践報告会 コメンテーター 山路克文 先生

【報告者 演題登録順】

- ①伊勢赤十字病院 橋本康平氏
『地域における介護支援専門員との連携の強化及び質向上を目指して』
- ②主体会病院 鈴木愛美氏
『実習指導に参加することで変化した1年目MSWのソーシャルワーク実践』
- ③三重大学医学部附属病院 濱岡和弥氏
『認知機能低下を伴う多系統萎縮症患者の意思決定支援』
- ④市立四日市病院 岡香織氏
『市立四日市病院における、「北勢地区要支援児童に関する情報交換会」について』
- ⑤小山田記念温泉病院 山浦康孝氏
『病状に翻弄されながらも自分達らしく生活することを自己決定した患者・家族への支援』

三重県医療ソーシャルワーカー協会実践報告会 参加申込書

〆切 1 月 31 日(土)

参加者氏名	所属機関	備考

連絡先電話番号 _____

【連絡事項等がある場合は下記にご記入下さい】

--

※同一所属機関の方は 1 枚にまとめてご記入頂きお申し込み下さい。

返信先 三重県医療ソーシャルワーカー協会事務局 小山田記念温泉病院

FAX 059-337-9512

省資源のため本紙のみで送信してください